

共創拡大交流委員会 事業報告

委員長 柳 毅一郎

浦安青年会議所は、近年、会員数の減少が顕著になっておりました。組織運営としても、今後2年間に卒業を迎える経験豊富なメンバーが会員全体の3分の1程度いることから、40年続く浦安青年会議所の運動の意義や価値を引き継ぐことについて懸念が生じておりました。このような状況の中、目標値である15名以上の会員拡大を達成するために、これまでの拡大方法を検証し総括した上でより効果的な計画を定めることをまず行いました。

次に担当例会としては、まず1月第一例会として、1月25日に新年交流会を開催いたしました。来賓やOB・OGの皆様を招いての対面式の新年例会は中止となりましたが、第42代理事長堀木修吾君が年頭の挨拶を行い、メンバーが年間の抱負を語り合うオンラインでの事業としました。急遽の開催でしたが、OB・OGの皆様やオブザーバーの皆様もご参加いただき、多くの方と手を携え、更なる可能性を示せる一年の第一歩となりました。

次に、3月第一例会として、3月26日に講師に衆議院議員の平将明氏をお招きし、新型コロナウイルスの影響により生み出されたニューノーマルな時代にいかにか、生き抜くか、地域や組織としてどう変化していくかを考えるための拡大研修事業を開催させていただきました。

次に、8月28日には8月第一例会ではOB親睦会が新型コロナウイルスの影響で中止となり、JCI日本公認プログラム VF (Visual Future) セミナーを開催致しました。本セミナーは、いつも目的意識を持ち、仕事や組織運営で、今何をすべきか迷わず的確な判断をするための手法を学ぶトレーニングセミナーであり、急遽の変更となりましたが、非常に有益なものとなりました。

そして最後に、12月3日には12月第一例会「想いを込めて未来へつなぐファイナル例会」並びに「想いを伝える卒業式」を開催し、第42代理事長堀木修吾君より今年度の事業を総括し、事業報告を行っていただきました。プレジデンシャルリース継承式では、歴代理事長協力の元、次年度理事長予定者の峰寄駿君へプレジデンシャルリースの継承が盛大に行われ歴史と伝統が継承されました。卒業式では、我らが同志である4名の卒業生を華々しく祝い、祝す事ができました。

拡大については、委員会方針に記載した目標の達成率としては、16/15(人)で107パーセントとなり、拡大率としては、16/22(人)(期初会員の数字)で73パーセントとなりました。これらの数値は近年としては浦安青年会議所としては非常に高く、県ブロック内でも高い数字にあり、見事、県ブロックの褒賞にて拡大率部門でトップに輝きアワードをいただきました。最後に、お礼を言い尽くせませんが、拡大や例会にご協力いただいたすべてのメンバーに感謝を申し上げ、共創拡大交流委員会の事業報告とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。